



◇はじめてのラジオ番組◇

先日、ラジオニセコではじめて国際交流員の番組を担当しました。国際交流員の異文化交流経験談や世界各国の面白い情報などを伝える「世界の耳へ」という50分間のラジオ番組です。

私は、高校時代からラジオを聴くことが大好きでした。毎日ラジオを聴きながら宿題をして、好きな曲が流れるのを待っていました。もし自分がDJだったら、どんな曲を流すか、どんなことを話すかとても興味がありました。

しかし、実際ラジオ番組に出演すると、番組を構成することは、思ったより難しく感じました。時間を見ながら、次に話す内容の長さを決めなければなりません。好きな映画をリスナーの皆さんに紹介したかったので、内容を沢山準備しましたが、結局全部の内容を話せませんでした。やはり自分の好きな映画の話をしはじめるのと、止まらなくなります。番組で、中学校時代から日本語を勉強してきたことや、冬になったら観たくなる映画などについて話しました。好きな映画の音楽をリスナーのみなさんと一緒に聞いて、とても楽しかったです。これからの番組では、日本の方々が知らない中国で大ヒットした日本映画や面白い歴史映画などについて話したいと思います。

柯 逸陽 (カ イツヨウ)



国際交流員柯逸陽の様子。国際交流員の番組は、ラジオニセコ（76.2MHz）で、毎週金曜日15時～16時まで放送です。次回の放送は1月11日です。

◇小選挙区と比例代表◇

先月、町中をスピーカーをつけた車が走り、選挙活動が行われていました。私は選挙権がないので、投票できませんが、大変興味深く、日本の選挙制度について少し調べてみました。日本は、小選挙区比例代表並立制によって選挙を行います。私の出身国カナダでは、比例代表制について様々な意見があり、比例代表制の一種の「単記移議式投票」を使うかどうかで投票が行われました。しかし、そのシステムはわかりにくかったせいか、採用されませんでした。小選挙区制はわかりやすいのですが、多くの比例代表制のシステムは複雑です。イギリスや前イギリス帝国の植民地であったカナダ、アメリカ、インドなどでは、小選挙区制を使用していますが、国際連合の193ヶ国の中で、150ヶ国（日本を含む）が比例代表制を使用しています。

小選挙区制の問題は、「マイノリティー政府」、つまり、人口の50%以下の国民の支持しかない党でも政権を握ることです。今のカナダ政府の与党は、保守党で支持者は人口の50%以上ですが、その直前2回は、マイノリティー政府でした。複数党を生み出す比例代表のシステムは、政府のまとまりをなくしてしまう一方で、

小選挙区制は、まとまった強い政府を生み出すという考えもあります。しかし、各党の様々な価値観や意見を国民に知ってもらうことは、よいことだと思います。今回の選挙で自民党が与党になったのように、比例代表制を使用しても50%以上の大半の支持を得ることも可能です。

カナダや他の小選挙区制のみを使っている国は、いずれ比例代表制を使用するようになると思います。二つやり方を合わせた日本の小選挙区比例代表並立制は参考になるでしょう。そのときまで、日本は模範となり続けてもらいたいと思います。

ウォード・ジェニファー

◇先進国の健康危機について◇

現在、先進国では、2型糖尿病、心臓病やその他の肥満症関連の健康危機が問題になっています。特に、アメリカ合衆国では、人口の大半の人が標準体重より重く、3分の1は肥満症にかかっています。他の英語圏の国では、アメリカほど肥満予備群は多くありませんが、各国の発展とともに、肥満症が増加していると言えます。肥満人口が少ない日本でも、平均体重が増えつつあります（しかし男女間の差はあります。標準体重より重い人は、40代と50代の男性は40%、女性は20%程度です）。日本人の平均寿命（特に女性の平均寿命）は世界一ですが、現代のメタボリックシンドロームなどの問題を考えると、将来は寿命が短くなるのではないかという心配もあります。日本を含め、先進国では肥満症の子供は急激に増えているので、この問題は世界中で注目されています。

先進国では、事務所での座り仕事が多いことによる運動不足も、確かに肥満の原因の一つですが、最大の要因は食生活だと言われています。日本人の中には、「なぜアメリカ人は肥満が多いのか」と疑問に思っている人も多いと思いますが、これはとても複雑な問題です。

肥満問題は、「自己責任」とも言えますが、実は、資本主義による食生活が原因と言えます。安く生産できる食べ物は、体によくありません。最近話題になっているのは、「異性化糖」です。これは、とうもろこしやさつまいもから生産されていて、非常に甘く、砂糖より生産コストが安いです。お酒よりも体に悪いと言われていますが、ほとんどのアメリカの食べ物に入っています（日本でも普及しています）。アメリカでは、野菜や果物は、ファストフードやお菓子よりも高価なので、体によい食べ物が食べたくても買えない人もいます。貧富の差が拡大し、貧しい人が増えていくとともに、アメリカ人のお腹はどんどん丸くなります。働く時間が長いので、料理する時間も持たず、外食してファストフードを食べる機会が多くなり、結果として肥満に繋がります。

アメリカでは、「砂糖に税金を投入しよう」という声がありますが、そのような制度は成功しないと思います。なぜなら、アメリカ人は自由が一番という考えを持っていて、誰かに何か指示されることも、税金を払うことも嫌がるからです。

私は、アメリカの食生活が世界中に広まっているのを見て、心が痛みます。日本食は非常に体によく、納豆、味噌、緑茶などは日本人の長生の秘訣だと言われています。砂糖だらけの食べ物より、このような食べ物が、世界中に広まったらよいと思いますが、納豆はどんな風に宣伝したら人気者になってくれるのでしょうか。なかなか難しい問題です。

ウォード・ジェニファー

何か皆さんに伝えたいことはありますか？取り上げてもらいたい話題はありますか？是非ご連絡ください！
読者の方からの記事を募集しています！

問い合わせ：ニセコ町国際交流推進協議会（ニセコ町役場企画環境課）

担当：ウォード、福井 TEL:0136(44)2121 E-mail: kikaku@town.niseko.lg.jp